

各 位

平成19年4月12日

会社名 中越パルプ工業株式会社  
住所 東京都中央区銀座二丁目10番6号  
代表者名 代表取締役社長 長岡 剣太郎  
(コード番号3877 東証、大証、各第1部)  
問合せ先 常務取締役 原田 正文  
(TEL 03-3544-1522 企画管理部)

### 子会社の事業撤退に関するお知らせ

当社は、この度、連結子会社である九州板紙株式会社が行っている以下の事業から撤退する事を決定いたしましたので、お知らせいたします。

#### 1. 事業撤退する子会社の概要

- |          |                        |
|----------|------------------------|
| (1) 商号   | 九州板紙株式会社               |
| (2) 所在地  | 鹿児島県薩摩川内市宮内町1番26号      |
| (3) 代表者  | 山根徹男                   |
| (4) 事業内容 | 段ボール原紙・白板紙の製造、加工並びに販売  |
| (5) 設立   | 昭和33年3月                |
| (6) 資本金  | 90百万円                  |
| (7) 総資産  | 2,082百万円(平成18年9月30日現在) |
| (8) 出資比率 | 子会社保有分を合わせ合計86.6%      |
| (9) 決算期  | 3月                     |
| (10) 従業員 | 45名(平成19年3月31日現在)      |

#### 2. 事業撤退の理由

九州板紙(株)は、主力製品である段ボール原紙(外装用ライナー)、白板紙の販売価格修正を実施したにもかかわらず、大幅な原料古紙・燃料価格の高騰により収益の低迷を余儀なくされているため、老朽化した生産設備への抜本的な対策も実施出来ず、品質面、操業要員体制等に関する問題点が顕在化しつつあります。

原料古紙は需給のタイト化により一段と価格アップの傾向を強めており、白板紙市場は今後も激戦が予想されるなど九州板紙(株)を取巻く経営環境は厳しさを増し、今後も収益構造の改善、黒字体制の確立は極めて困難であるとの判断に至りました。従いまして今後本事業が当社グループの連結業績に貢献する事は期待出来ず、又同社の生産設備は工場敷地も含めて当社川内工場の敷地内に位置しており、生産設備撤去後は当社が工場敷地を取得し、有効活用を図る事により当社川内工場の競争力強化につなげる事が可能となりますので、疲弊の進まないうちに事業撤退を行ない、コアの洋紙事業に経営資源を集中する事がグループの将来にとって得策であるとの結論に達しました。

### 3. 最近3年間の経営成績

(単位:百万円)

	平成16年3月期	平成17年3月期	平成18年3月期
売上高	1,981	2,098	2,040
経常利益	79	49	2
当期利益	200	36	2

※平成16年3月期は投資有価証券売却益120百万円を計上しています。

### 4. 撤退方法、日程等

(1) 本年9月末を以って生産を完全に停止する事を前提に、それまでの間は生産縮小を緩やかに行ない、同業他社へ代替製品の供給をお願いするとともに、お客様のご意向を尊重しながら新規のご調達先へのご紹介を行わせていただく等極力お客様にご迷惑をおかけしないよう誠意を持って対応して参ります。

(2) 現在当社グループは収益構造改善に向けて、総額人件費削減を含む諸対策を推進中であり、グループ内での受入は不可能である為、従業員は解雇せざるを得ませんが、退職金の割増支給や再就職支援等出来る限りの誠意ある対応をして参ります。

(3) 九州板紙(株)所有の資産の内、建物・機械等の生産設備は撤去し跡地は当社が取得する事により川内工場で有効活用を図る事と致します。

### 5. 連結業績への影響

今回の事業撤退に伴い、約6億円の特別損失(連結)を計上の見込みですので、併せて「業績予想修正に関するお知らせ」も本日開示しております。

以上